

題材名:いろいろな感情
 授業のねらい:同じ感情でも、その気持ちの強さによって、気持ちが違うことに気づく
 本時の展開

	生徒の活動	教師の活動と留意点	準備物
導入	○表情の絵から気持ちを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えた後、班で相談してもよい。 ・顔のどこから、そう感じたのかを考えさせる。 ・顔のどの部分に、感情がよく表れているのかを振り返る。 目・まゆげ・口など 	プリント①
主活動	<p>○感情の強さを考えて、表情と気持ちを考える。</p> <p>○気持ちを理解するための7つの手掛かりを知る。</p> <p>○7つの手掛かりを参考に人物の気持ちを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ感情でも、その気持ちの強さによって、気持ちが違うことを知らせる。 ・表情の絵を参考に、ワークシートを記入させる。 ・気持ちの強さを考えた言葉を考えさせる。 ・班でワークシートを見せ合い、感じ方の違いを確認する。 ・班でワークシートを見せ合い、他の人の感じ方を確認する。 	<p>プリント②</p> <p>プリント③</p>
まとめと振り返り	○今日の学習を振り返る。	・振り返りシートを記入してください。	振り返りシート

参考文献

小泉令三・山田洋平 2011 社会性と情動の学習 (SEL・8S) の進め方—小学校編— ミネルヴァ書房.